

報告

▽令和元年度館林市一般会計繰越明許費の繰越報告について
 令和元年度館林市一般会計補正予算(第6号)及び(第7号)において、市史編さん事業348万5000円など合計9億8786万1000円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり令和2年度に繰越したことについて報告されました。

▽令和元年度館林市下水道事業特別会計繰越明許費の繰越報告について
 令和元年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第3号)において、処理場整備事業2700万円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり令和2年度に繰越したことについて、報告されました。



マンホールの蓋

“令和元年度 政務活動費の収支報告”をお知らせします

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、政策に関する調査研究、研修、広報等の活動のために市議会の会派へ交付される費用のことです。

館林市議会では、議員1人当たり年額15万円(月額12,500円×12か月)を当該年度分一括して各会派に交付しています。

各会派より提出されました「収支報告書及び会計帳簿」は、市議会ホームページで公開しています。



令和元年度(平成31年4月～令和2年3月) 交付分を掲載

会派名	所属議員数	交付金額	支出額	残額(返還額)	執行率
緑水クラブ	9人	1,350,000円	1,342,494円	7,506円	99.44%
虹志会	2人	300,000円	151,905円	148,095円	50.64%
公明党	2人	300,000円	180,233円	119,767円	60.08%
日本共産党館林市議団	2人	300,000円	299,936円	64円	99.98%
館林クラブ	2人	100,000円	93,603円	6,397円	93.60%
無会派(今野郷土) ^{*1}	1人	100,000円	94,814円	5,186円	94.81%
無会派(吉野高史) ^{*1}	1人	100,000円	100,000円	0円	100.00%
無会派(森田武雄)	1人	150,000円	67,411円	82,589円	44.94%
計	18人 ^{*2}	2,700,000円	2,330,396円	369,604円	86.31%

※1：今野議員と吉野議員は、令和元年12月1日付けで「館林クラブ」を結成したため、無会派として8か月分を交付し、館林クラブとして4か月分を交付したものです。

※2：所属議員数の合計は、「※1」の経緯により、無会派としてはカウントせず、館林クラブとしてカウントしたものです。

“新型コロナウイルス感染症対応に係る議会費の減額の申し入れを行いました”

世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は、終息の傾向にあるものの、第2波、第3波も懸念され、依然出口の見えない混乱が続いております。そのような中、市民生活の不安を払拭することが喫緊の課題となっております。

館林市議会では、今年度の各常任委員会の行政視察を実施しないこととし、それに伴う議員及び随員職員の旅費を減額することを決定しました。減額分については、外出自粛や休業要請によって、深刻な影響を被っている市民及び市内の事業者のための支援策等に充てる財源として活用していただくよう、令和2年6月8日に市長へ申し入れを行いました。

減額内容 令和2年度の各常任委員会の行政視察に伴う議員及び随員職員の旅費

減額金額 2,835,000円

